



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Feb. 2023

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

北が2月18日、大陸間弾道ミサイル（ICBM）に続き、20日朝、短距離弾道ミサイル（SRBM）を発射し、慌ただしい朝を迎えた。強力な兵器を誇示しても、食料不足すら解決できていない現状では、国民を守っているとは決して言えない。一部地域では、食料不足による餓死者が発生し、兵士への配給も減らしたとの報道もある。一方では彼の政権は核兵器等の開発費用を得るべく仮想通貨等のハッキングも行っているとされている。

また、人民軍創建日（建軍節）七十五周年を祝して八日夜間に行われたパレードでは、次女とみられる女子を連れ、家族と共に観覧した。彼が後継者に考えているのではとの憶測もある。

犯罪行為で得た巨額の資金を軍拡に投じ情勢を悪化させ、国民を飢えさえ、更に四代世襲に誰一人として、いや心の底では、今日明日の飯が先である国民自体も理解できるものはいないだろう。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

政府の経済対策により2月（1月使用分）から電気代が引下げられます。しかしながら、各電力会社はエネルギー価格の高騰を理由に経済産業省へ値上げを申請しており、政府の負担軽減策による引き下げ効果がなくなる可能性があります。世界情勢からもエネルギー価格の高騰は避けられず、節約や電力会社見直しなど、個々での対策も必要です。（Y.Y.）

SANSHIN Hong Kong

Carbon Emission:How to limit Carbon Emissions? When we burn coal, oil, natural gas and other fossil fuels...etc. It also produces carbon dioxide, one of the greenhouse gases that contributes to global warming. Green / Renewable Energy may be the key in the next Century.IE: Solar Power(solar panels), hydroelectricity , biomass energy , wind turbine. Electric vehicle is the new popular eco friendly for reducing the CO2. I think the electric technology for vehicle will become popular in coming year. Solar Power(solar panels) is also the key to provide weaming in winter time for human expecially in north on the earth. Back to now, don't think you do nothing right now, we can riding a bike or walk instead of taking a bus of short distance. That may good for your health and body too. （C.W.）

CSI

昨年迄コロナの影響で中止されていましたが、1月にセブ最大のお祭りシノログが行われました。遠隔操作ボム爆発を懸念し、前日と当日2日間、時間限定でセブ市内（LAPULAPU含）祭り周辺のインターネット及び携帯電話を不通に、道路も車両通行止めとなり、事故もなく無事行われました。（K.S.）

SANSHINWest

マスク着用については賢明な自己判断が必要だと思いますが、今後さらに大きな問題になっていくのが「不織布マスクの海洋プラスチックごみ化」です。ご存じの通り不織布マスクはプラスチックが主原料です。この3年間で何十億枚という不織布マスクが海に流出しました。それらが自然に分解されるまで500年近くを要するそうです。バイオマスプラスチック=土に還る植物由来素材のマスクを選択するなど、未来の環境問題とも向き合うつもりで少しずつ実践しています。（N.K.）

SHINKOWA

今月は寒い日、暖かい日、風が強い日、大雨の日など天気がよく変わる日々でした。そして空気の乾燥、気温の寒暖差、また気温が上がってきたのもあり、花粉が舞い花粉症による体力減少による体調不良になったこともありました。しかし、自身の体力により体調不良を一日で治すことができました。体力は体調不良をも即完治する要因にもなる、ということに改めて感じました。現在は、自身の体力づくりと同時に病原体を身体に侵入させないように生活に気を付けています。（H.K.）

SC2

最近話題の「コオロギ食」。地方によっては昆虫食文化がありますが、コオロギは「歴史上で人間が食べてこなかったもの」です。戦時中の飢餓でもコオロギは食べなかったとのこと。甲殻類アレルギーの人はアナフィラキシーを起こすリスクもあるそう。昔の人が「蝋」という文字で表現したコオロギ、皆さんは...召し上がりますか？（M.I.）

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

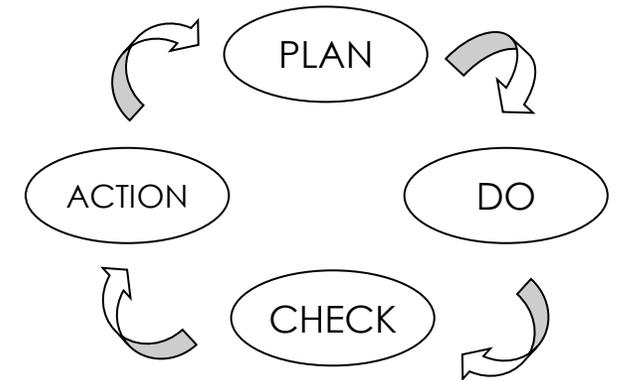
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



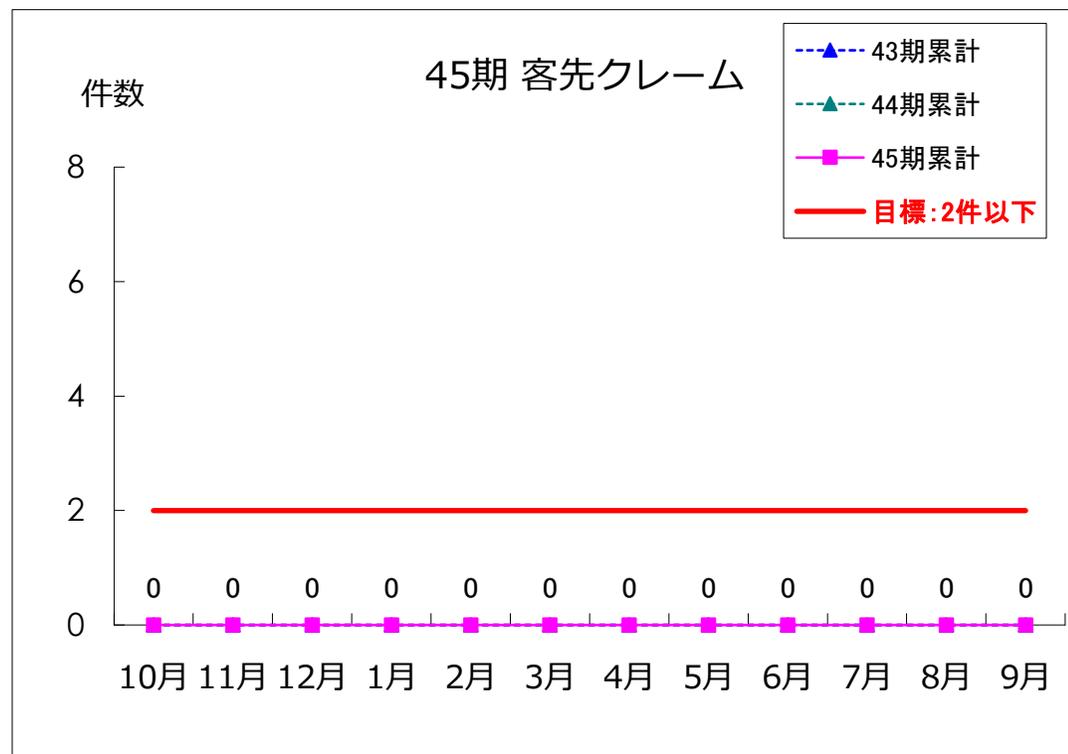
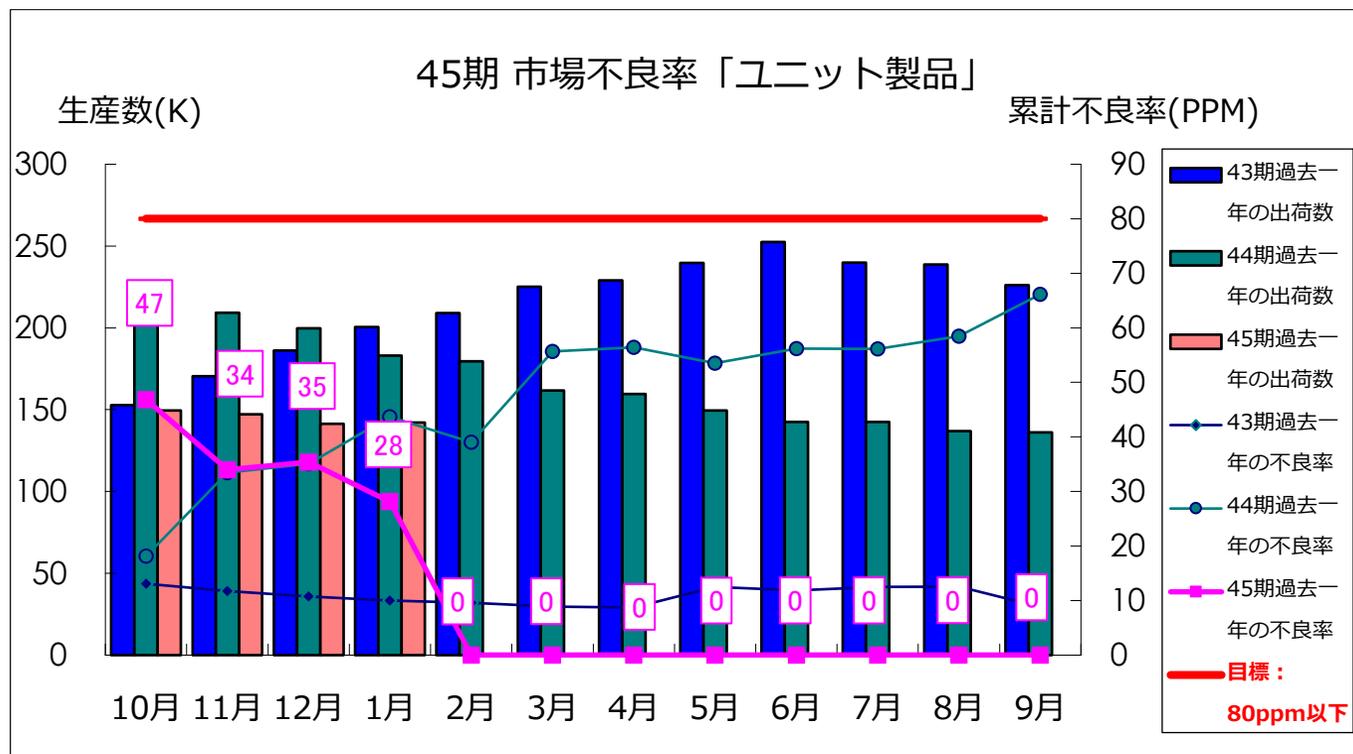
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 45期の累計不良率(解析依頼含む) : 28ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件



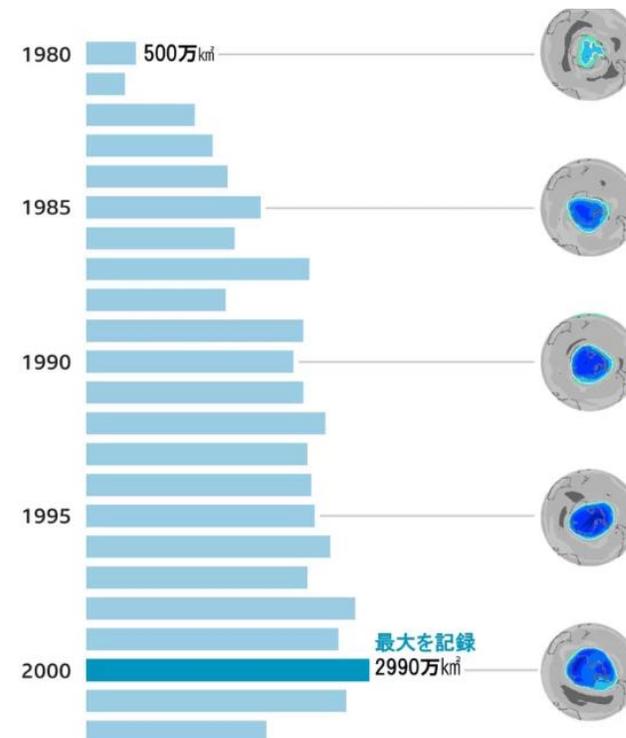
ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ オゾン層、数十年後には回復の可能性 = 国連報告書

オゾン層を守ろうとする人間の行動は、期待どおりの効果を上げており、今後数十年のうちにオゾン層が回復するかもしれない——。国連がこのほど、こうした報告をまとめました。科学的な根拠に基づき、国際社会が協調して取り組めば、環境問題を解決することができるその可能性を示す成果であると言えます。オゾン層は、地球の大気にある薄い層で、太陽からの紫外線の大半を吸収しています。オゾン層が破壊されれば紫外線が地表に届くようになり、紫外線はDNAを傷つけ、人間などの生物に害を及ぼす可能性があり、皮膚がんなどの長期的なリスクも高めます。また農作物の生育にも影響を受けると言われています。オゾン層の破壊は1970年代に始まりました。危機が明らかになったのは1982年、日本の南極地域観測隊が、昭和基地上空のオゾンが極端に減っていることを発見しました。1985年になって、オゾン層の穴を科学者らが発見、人工衛星から観測すると穴が開いたような状態になっており、「オゾンホール」と名付けられました。

オゾンホールの大きさの推移
(毎年の観測上の最大値と5年ごとの人工衛星画像)



今月のTOPICS

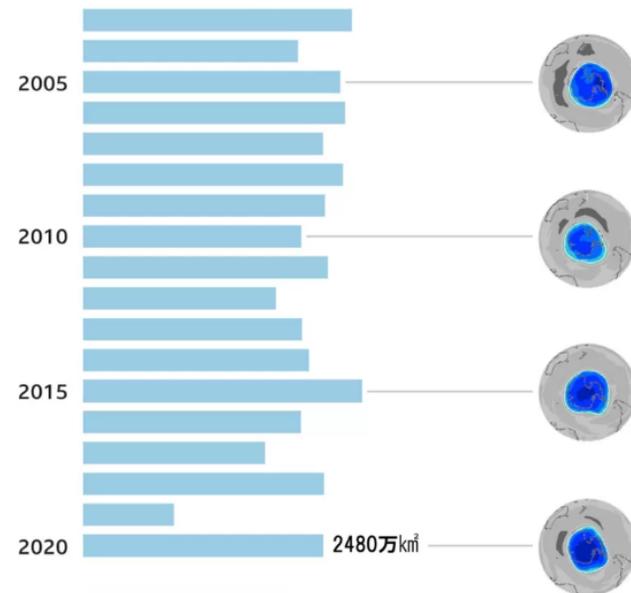
☑ オゾンホール発見と回復への取り組み

オゾン層破壊の原因は、冷蔵庫やエアコンの冷媒、スプレーの噴射剤、半導体の洗浄剤など幅広く使われてきたフロンでした。科学的なデータ突きつけられた世界は、87年にモントリオール議定書を採択し、フロンの製造・使用を段階的に全廃することに合意しました。取り組みは、代替フロンの開発、普及によって加速し、国連環境計画（UNEP）などによると、これまでに議定書で禁止したオゾン層破壊物質の約99%が削減されたとのこと。南極のオゾンホールは2000年まで広がり続けましたが、その後、面積、深さともに徐々に改善し始めました。

☑ 2066年ごろにはすべて回復か

国連、アメリカ、欧州連合（EU）の関係機関が共同作成した今回の報告書は、モントリオール議定書が期待通りの効果を上げているとしており、現在の取り組みが継続されれば、オゾン層は1980年の値（オゾンホールが出現する前の値）まで回復するとしています。最もオゾン層破壊がひどかった南極上空でも2066年ごろまでには回復する見込みです。ただし、新たな課題も生じています。代替フロンは地球温暖化の原因物質で、二酸化炭素（CO₂）の最大1万倍も温室効果が高いことから、削減に向けて、家庭用冷蔵庫や自動販売機で別の物質への転換を進めていますが、エアコン、業務用冷凍冷蔵庫などでは開発途上なのが現状です。

オゾンホールの大きさの推移
(毎年の観測上の最大値と5年ごとの人工衛星画像)



出典：コペルニクス大気監視サービス（CAMS）

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



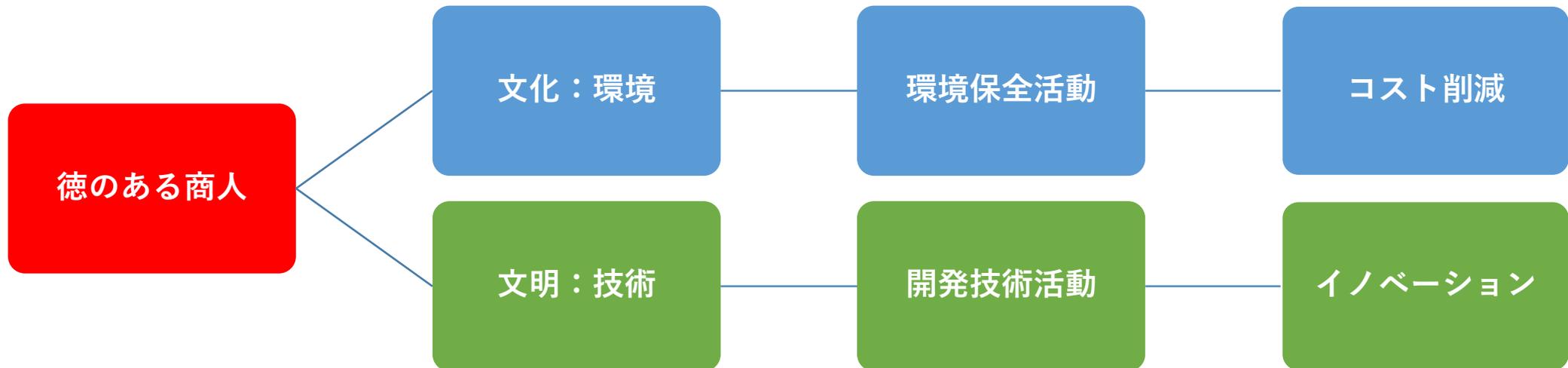
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

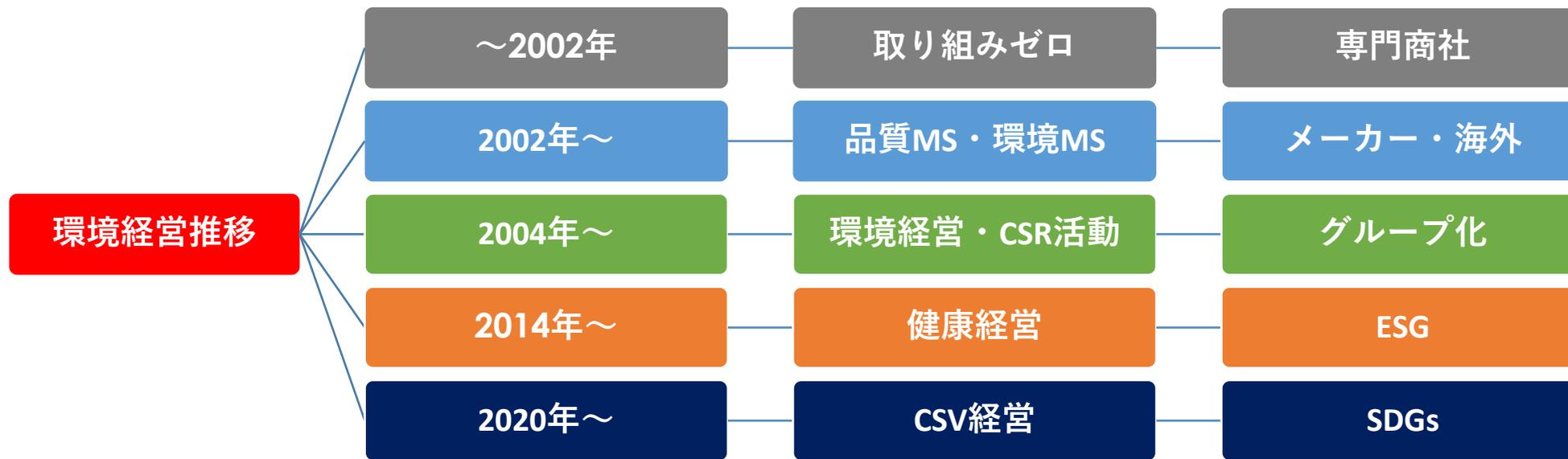
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

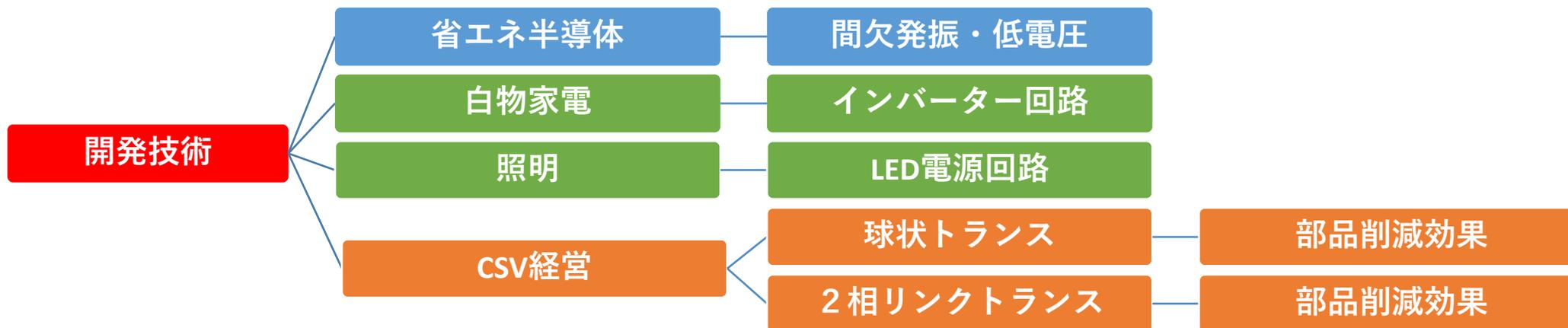
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



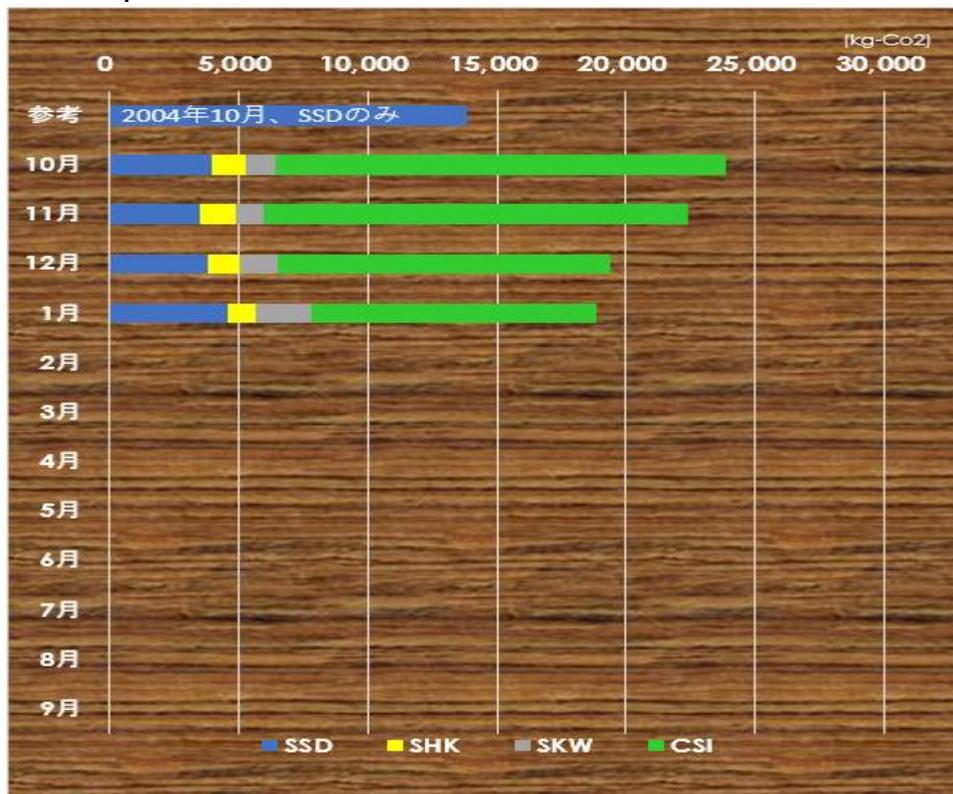
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

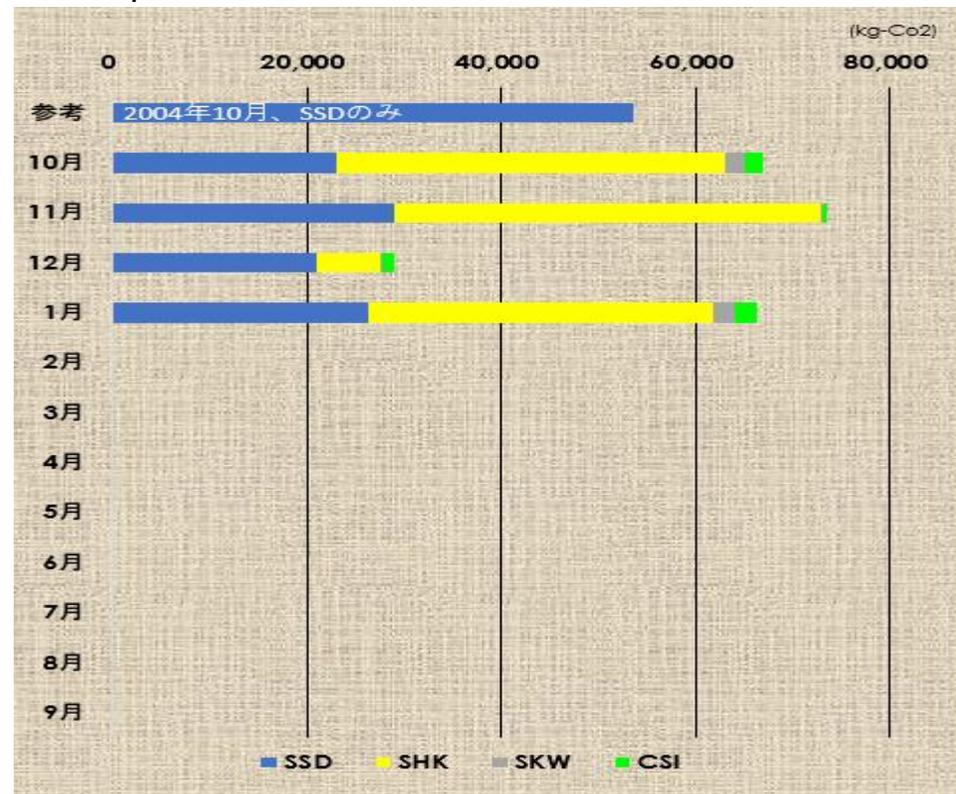
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

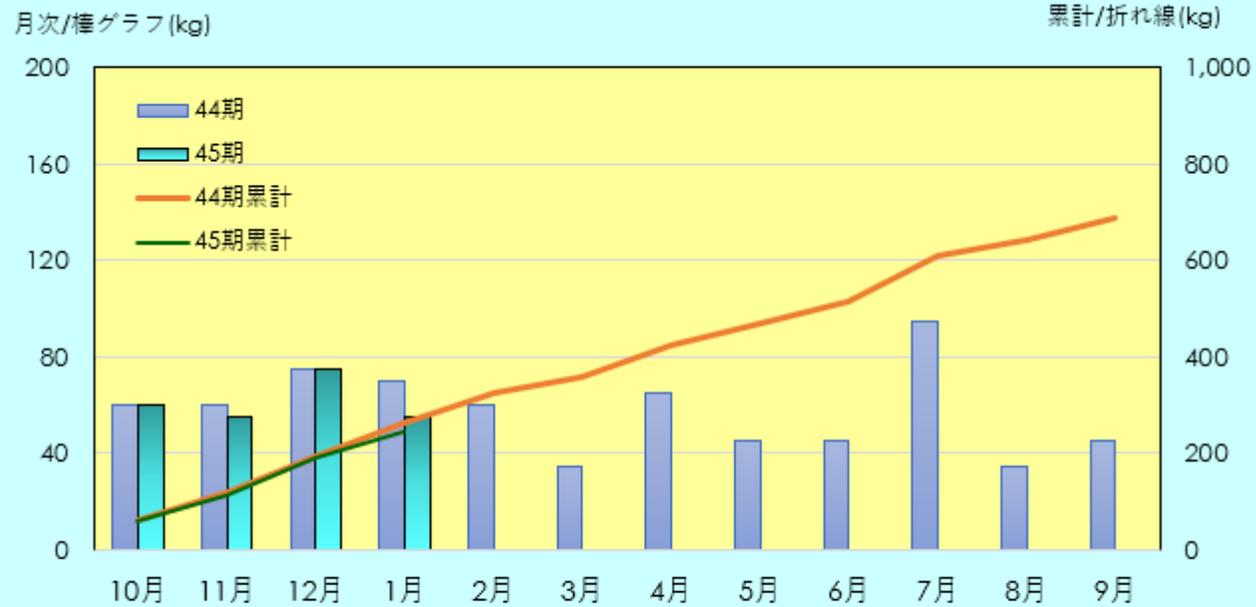
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



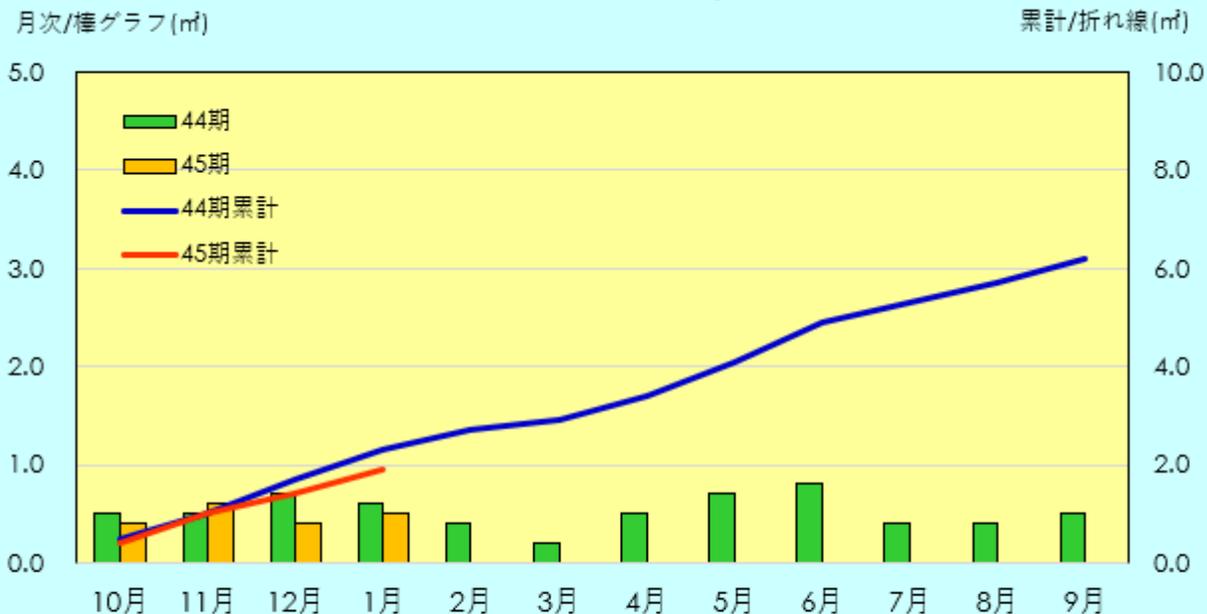
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



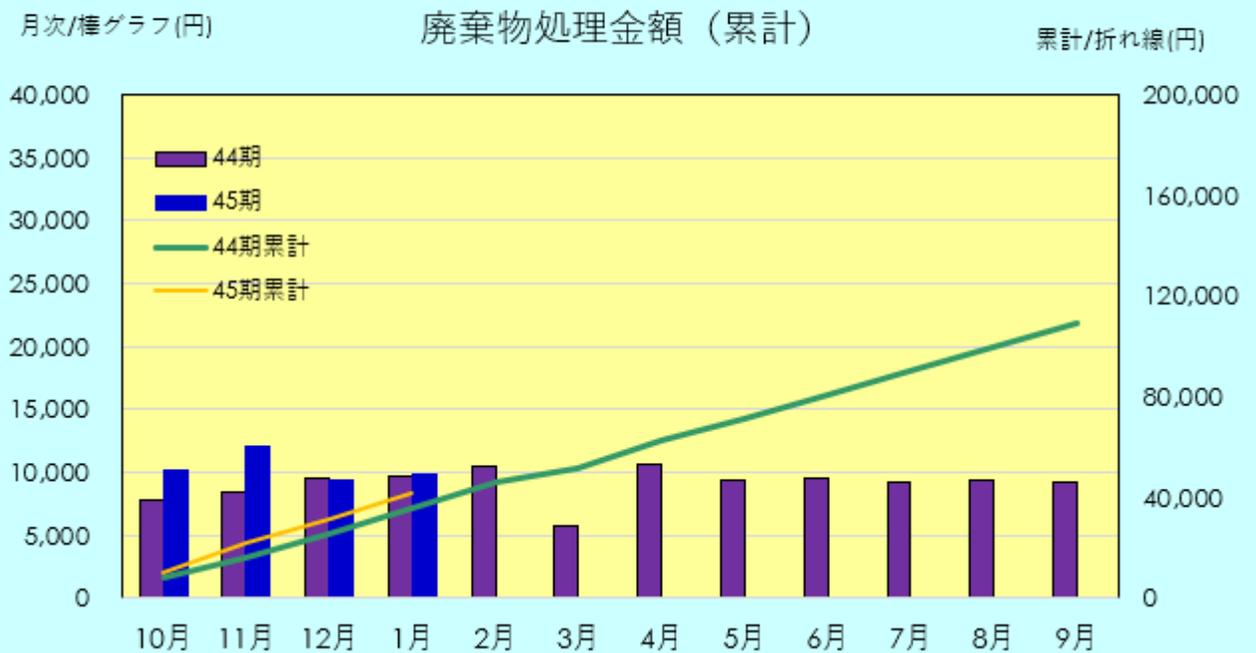
一般廃棄物 (SSD/本社)



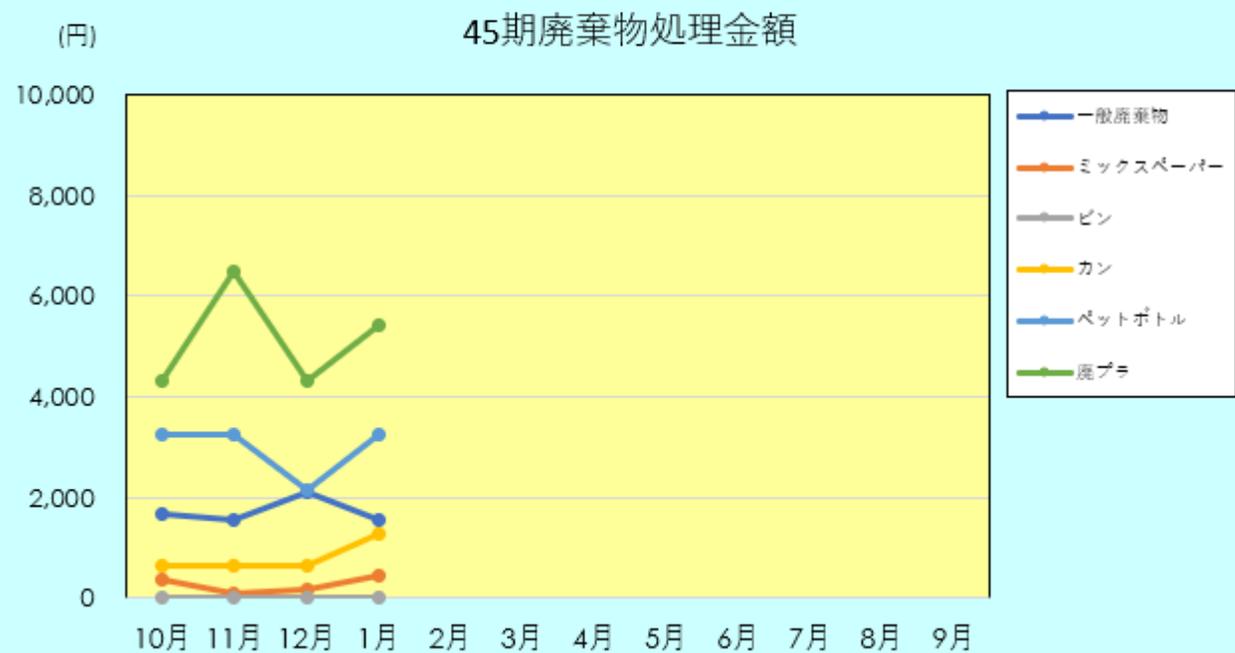
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



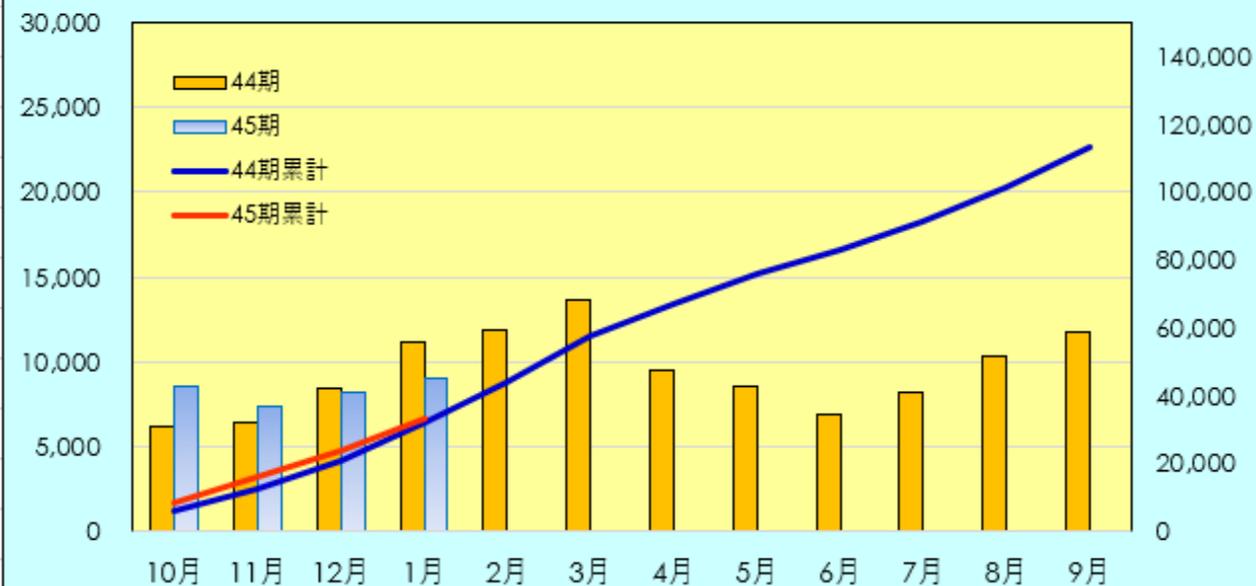
45期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

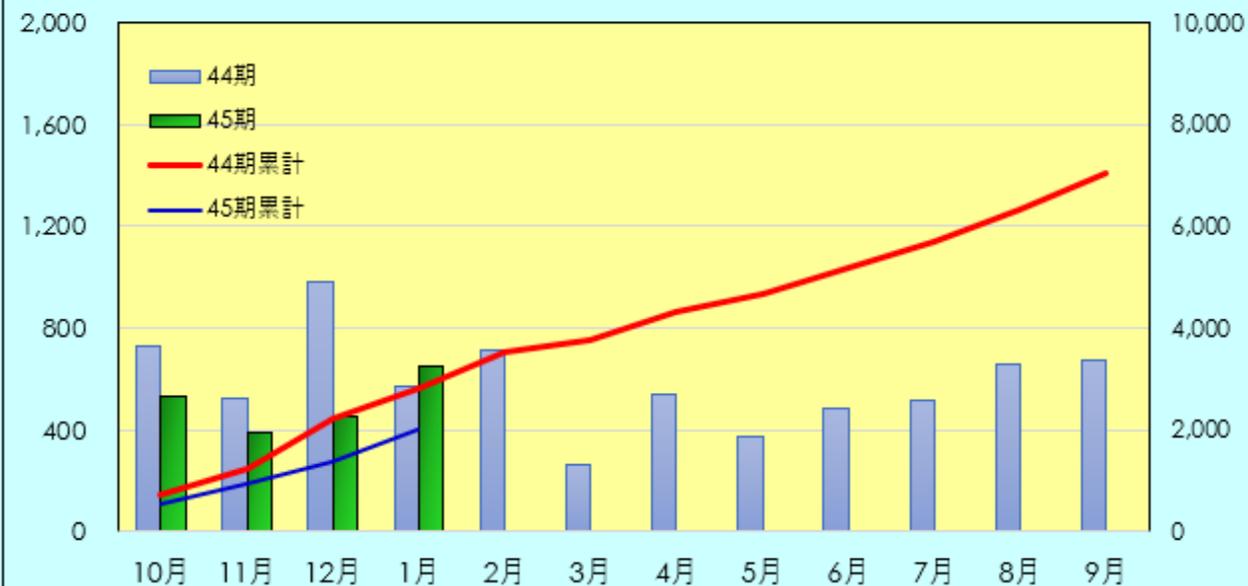
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

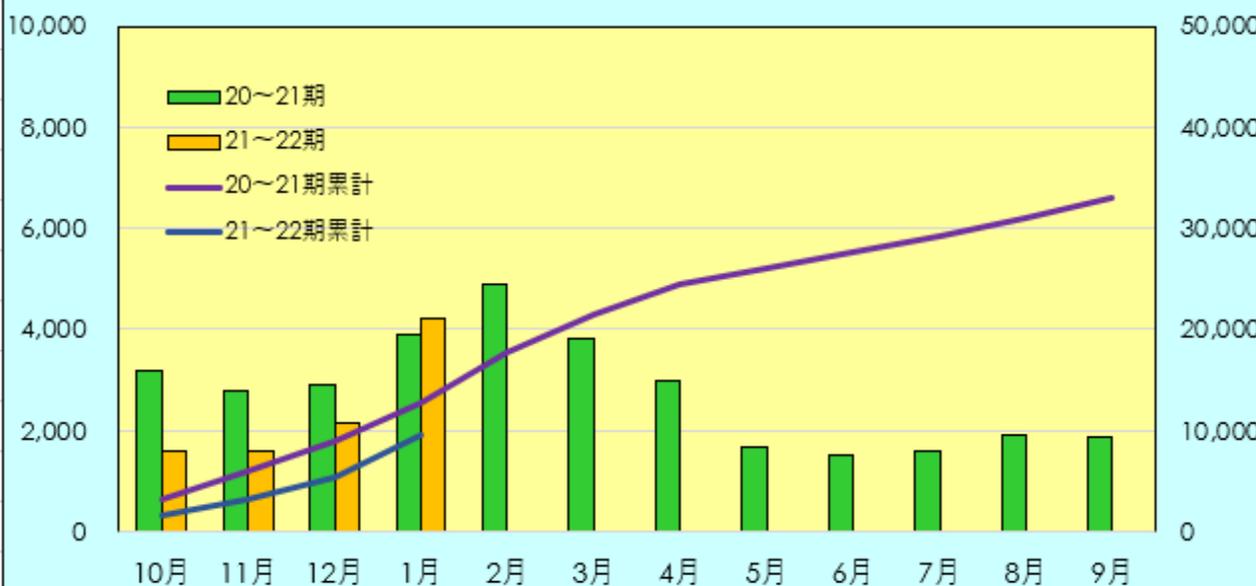
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

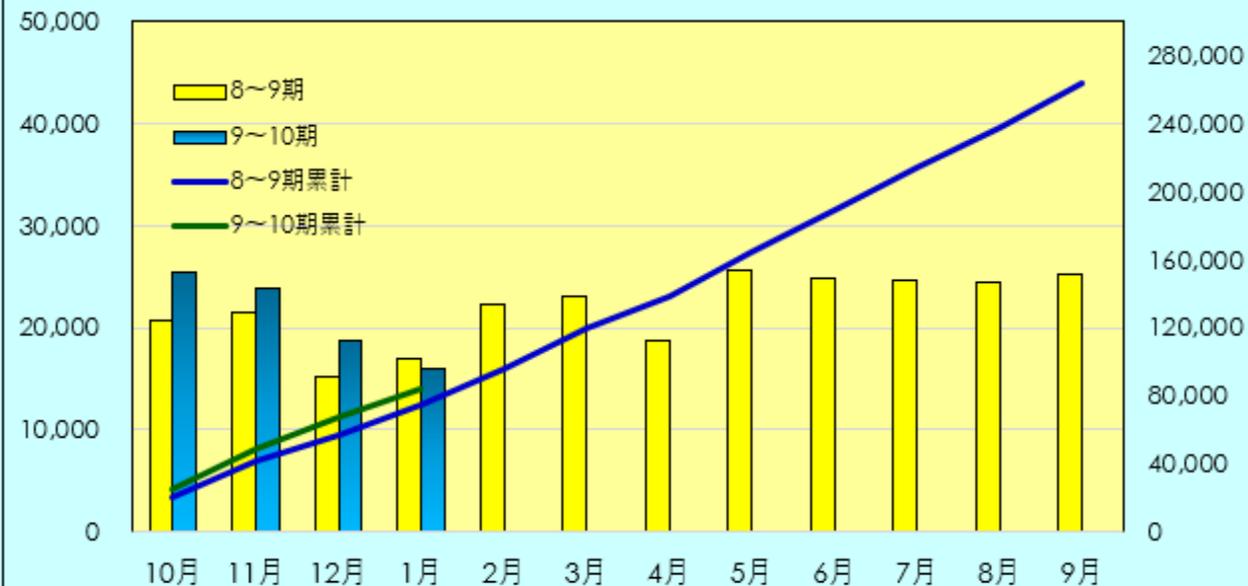
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

「サンシングループ経営事業報告会2023」が開催されました！

2023年2月10日に、毎年恒例のサンシングループ経営事業報告会が開催されました。

今年も昨年同様、オンラインでの開催となりました。

LIVE配信は、サンシン電気本社（東京）、サンシン電気関西営業所（大阪）、新光和株式会社（千葉）、三新電気香港有限公司（香港、中国）、CEBU SHIN KOWA,INC.（フィリピン・セブ島）等のサンシングループ各拠点及び社員の自宅等で視聴されました。

LIVE配信では、サンシングループの石井代表からサンシングループ2023中期経営計画が発表されました。また、各社の代表者より経営分析結果や今後の事業戦略等が発表されました。この1年間に新たに加わったWorld-wideのスタッフの紹介も行われました。

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（1月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

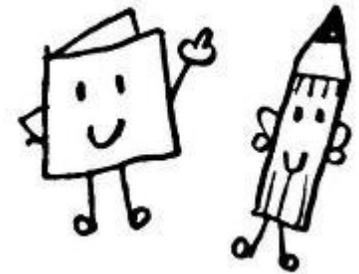


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



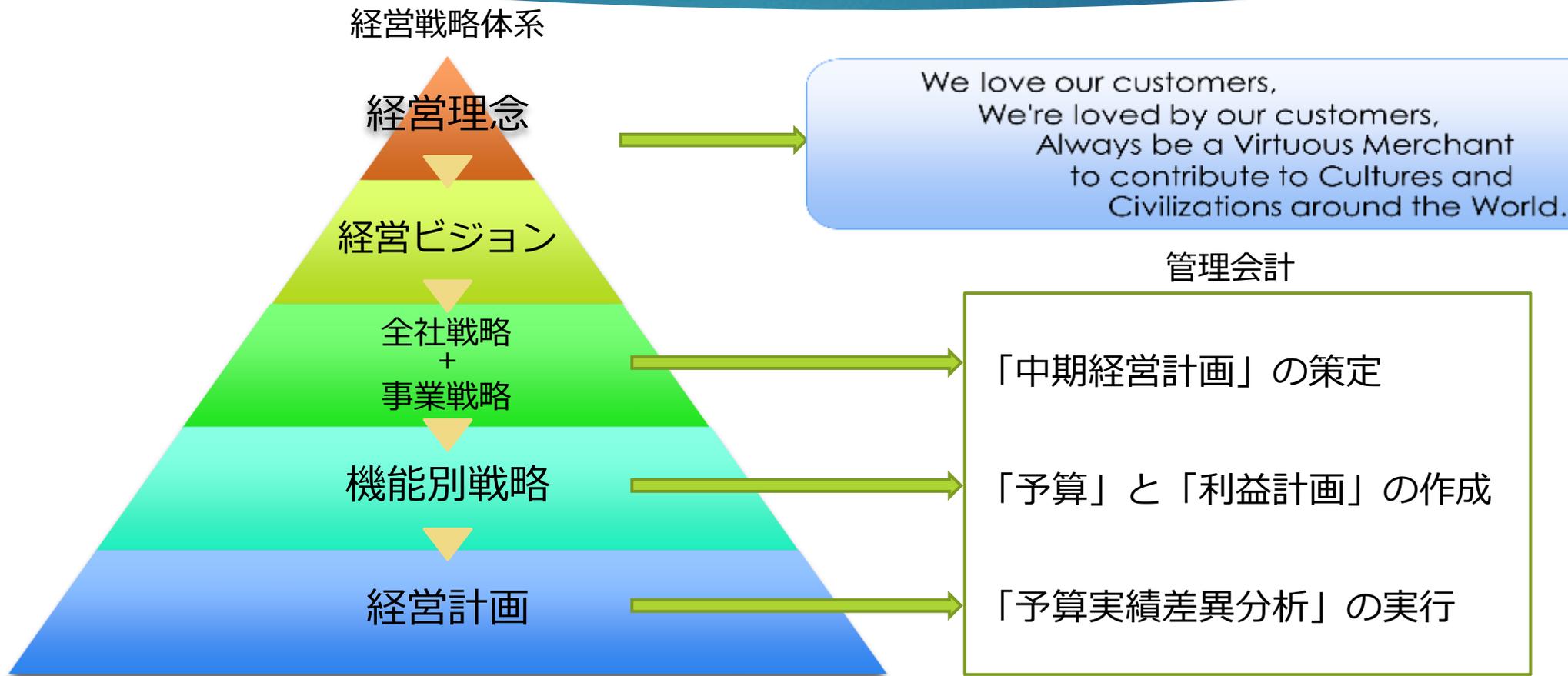
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

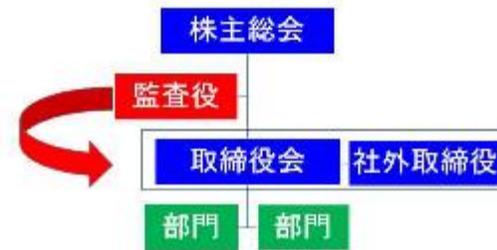
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

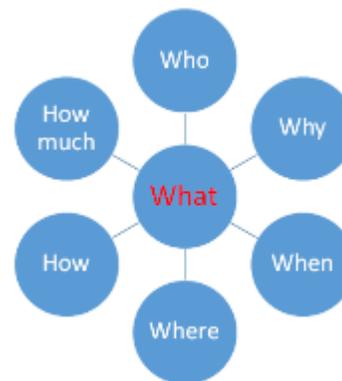


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



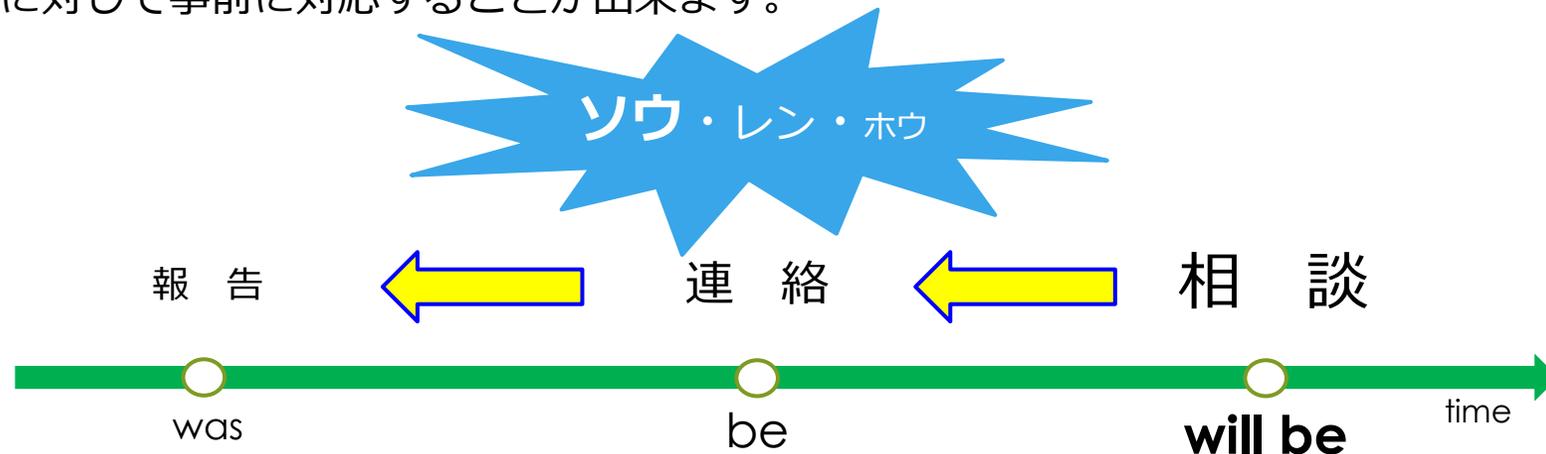
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

花粉の飛び交う季節になってまいりました。花粉症の私にとってはくしゃみ鼻水鼻詰まりと非常につらい季節です。今年は例年に比べ飛散量が多いそうで…。まだまだつらい時期は続きますが、無理せず付き合っていきたいと思います。